

TREK



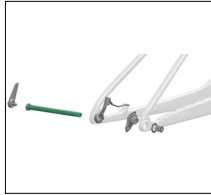
2024 SUPERCALIBER SL & SLR

サービスマニュアル

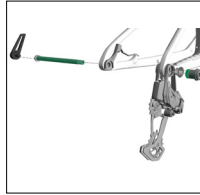
目次



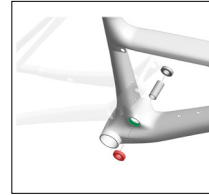
[安全上の注意](#)



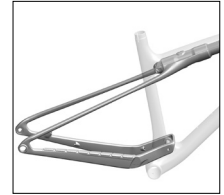
[UDH仕様のリアアクスル](#)



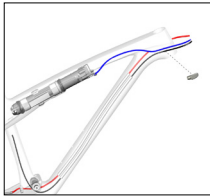
[SRAM Transmissionデレイラー仕様のリアアクスル](#)



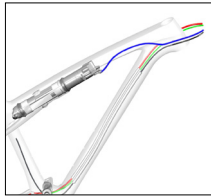
[メインピボット](#)



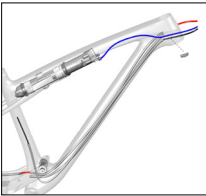
[スイングアーム](#)



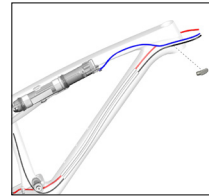
[SLRのAXS変速ルーティング](#)



[SLRの機械式変速ルーティング](#)



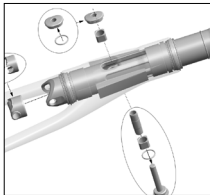
[SLのAXS変速ルーティング](#)



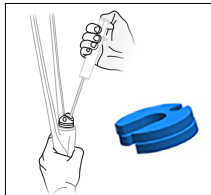
[SLの機械式変速ルーティング](#)



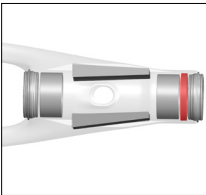
[フレームガード](#)



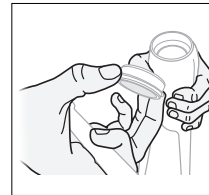
[IsoStrut](#)



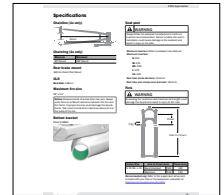
[IsoStrutのメンテナンス](#)



[ブッシュ、キャリッジワイパーシール、フォームブロック](#)



[ブッシュとキャリッジワイパーシールの交換](#)



[仕様](#)

安全上の注意

⚠ 警告

ハードウェアを正しく締めましょう

ハードウェアは必ず指定されたトルクで締めてください。ハードウェアを締めすぎると、ハードウェアや構成部品が変形したり破損したりする恐れがあります。ハードウェアの締め付けが弱いと、ハードウェアや構成部品が緩むことがあります。いずれの状況もバイクが損傷し、乗り手が怪我をする恐れがあります。

⚠ 警告

ねじ緩み止め剤を塗りましょう

再使用するボルトにねじ緩み止め剤が塗布済み場合はすべて、イソプロピルアルコールできれいにし、組み立て直す前にねじ緩み止め剤を新たに塗布してください。ねじ緩み止め剤が塗布されていないと、ボルトが緩んでバイクが破損したり、乗り手が怪我をする恐れがあります。

凡例



● グリスを塗る箇所



● グリスを塗ってはいけない箇所



● ねじ緩み止め剤を塗る箇所

Nm

トルク値



結束バンド

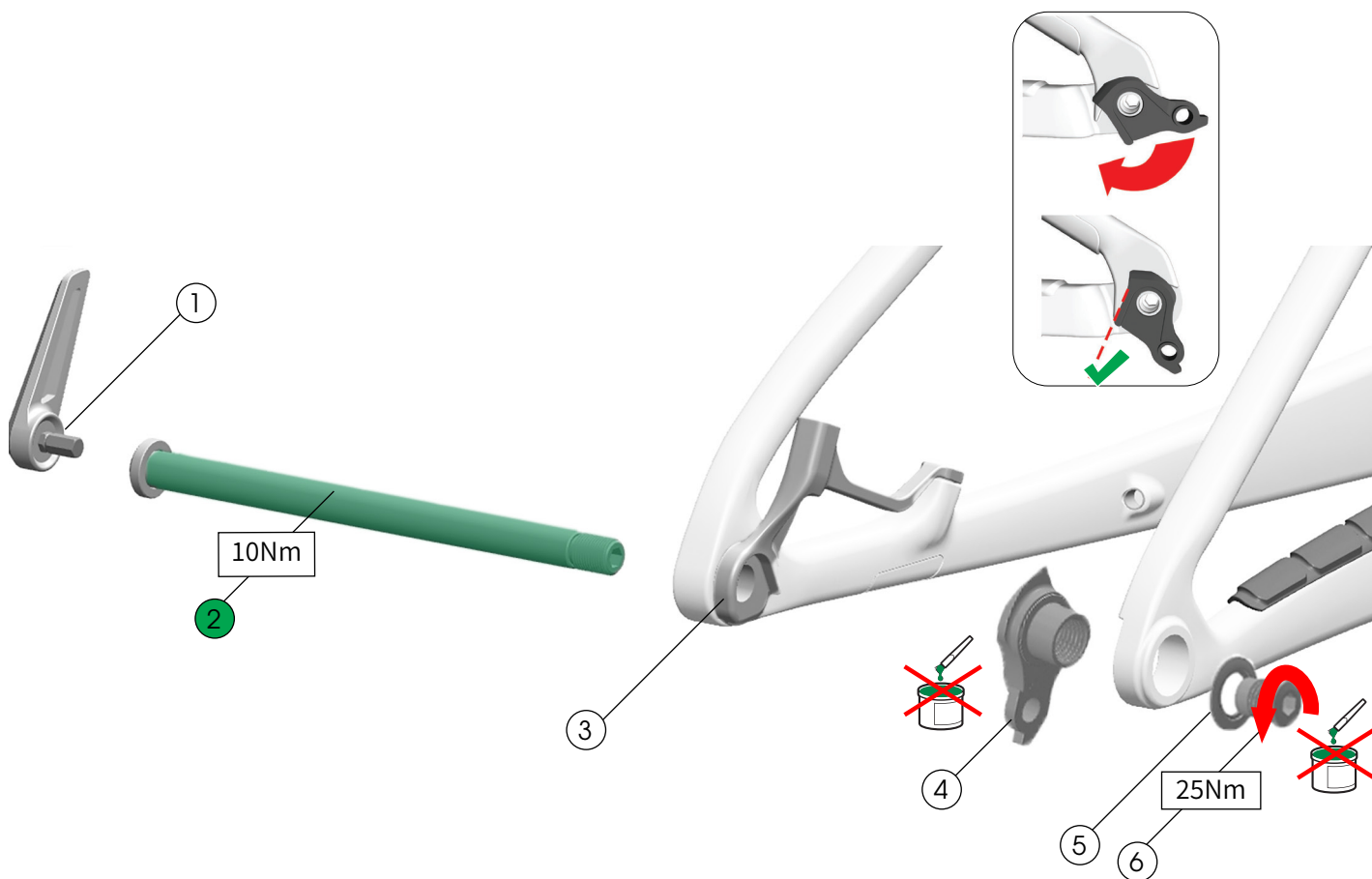
範囲

このマニュアルには、部品の展開図、仕様（グリス、トルク値など）、取付け方法、役立つヒントが記載されています。すべての部品（プレーキキャリパーなど）の説明は記載されていません。詳細については、製造メーカーを参照してください。

補足資料

- TrekのYouTubeチャンネル: youtube.com/trekbikes
- Trekオーナーズマニュアル: trekbikes.com/manuals
- RockShox SIDLUXE IsoSrutのサービスマニュアルはSRAMの販売店ポータルをご覧ください。

UDH仕様のリアアクスル

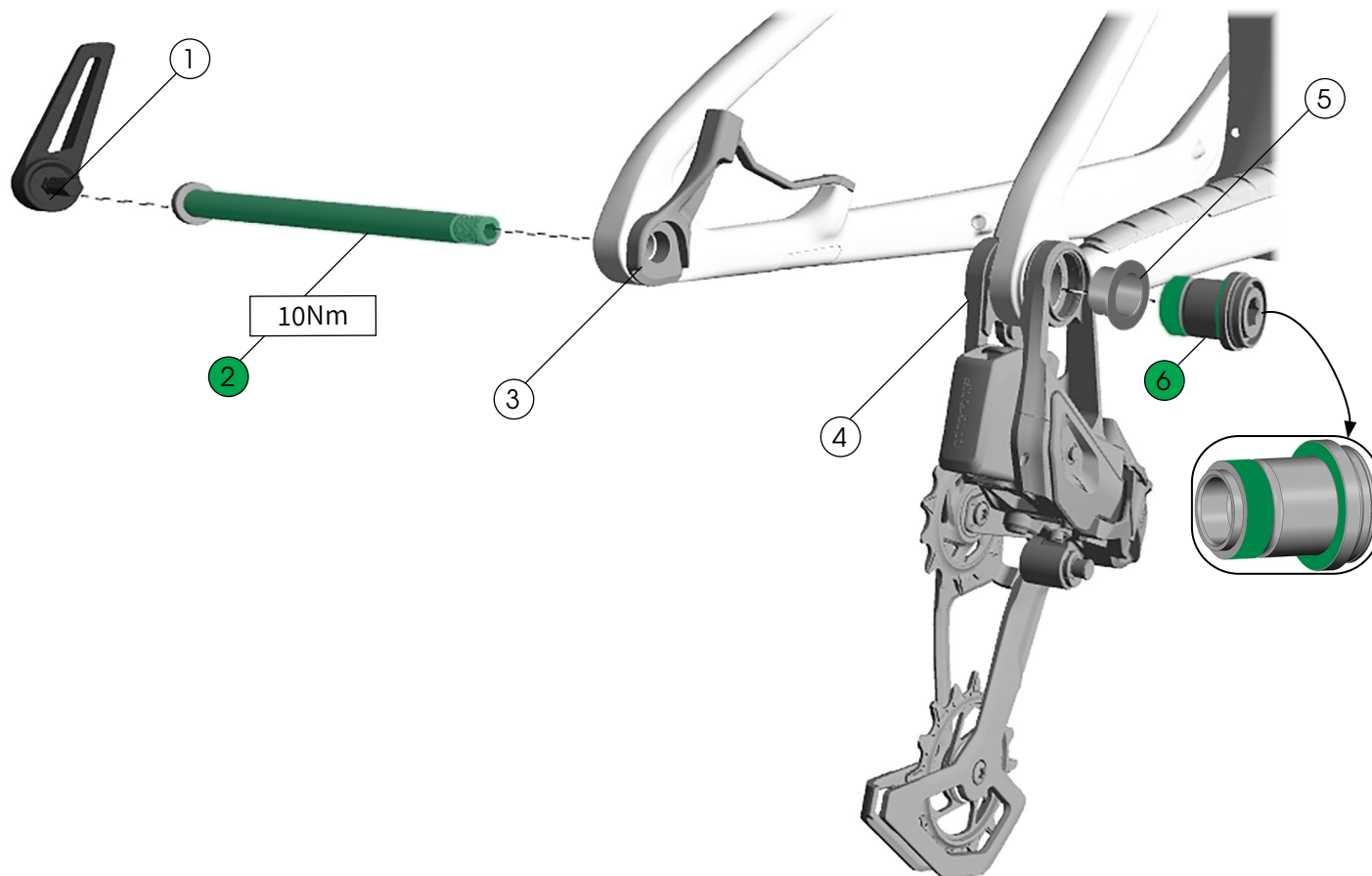


- ① スイッチレバー — [W573860](#)
- ② スルーアクスル、12x180 — [W5290786](#)
- ③ ドロップアウト ブレーキマウント — [W5307257](#)
- ④ ディレイラーハンガー、UDH
注: グリスを塗ってはいけません。
- ⑤ ワッシャー、25mm
注: ワッシャーはフレームごとに専用です。専用サイズワッシャーのみをご利用ください。
- ⑥ ボルト
注: グリスを塗ってはいけません。逆ねじです。締め過ぎに注意してください。締め過ぎると、ハンガーが破損する恐れがあります。

— [W5271424](#)

UDHについて詳しくは、SRAMのユーザーマニュアル (sram.com) を参照してください。

SRAM Transmissionディレイラー仕様のリアアックスル

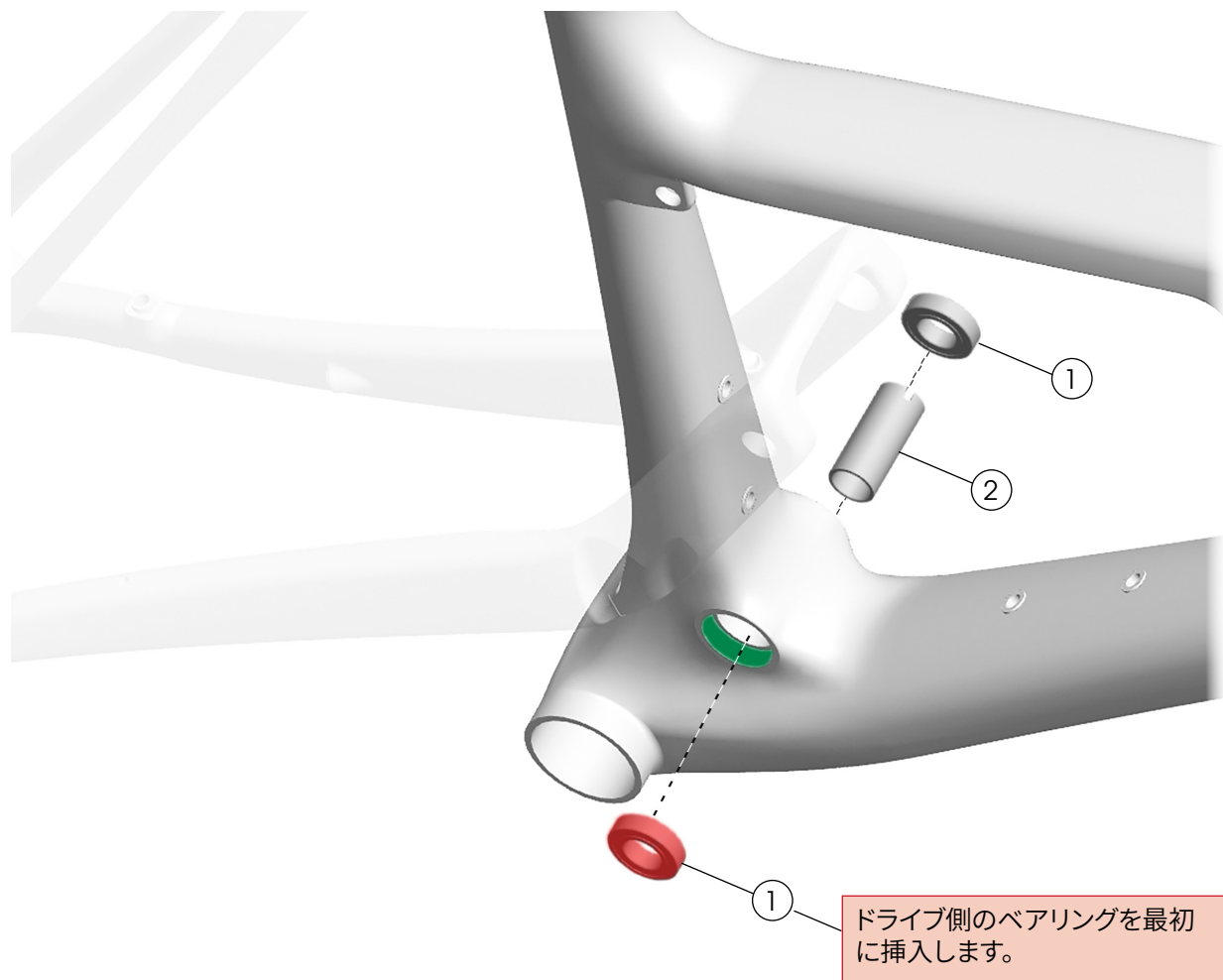


- ① スイッチレバー — [W573860](#)
- ② スルーアックスル、12x180 — [W5290786](#)
- ③ ドロップアウト ブレーキマウント — [W5307257](#)
- ④ SRAM Transmissionディレイラー
- ⑤ ブッシング
- ⑥ 固定用ボルト

— 詳しくはsram.comを参照してください。

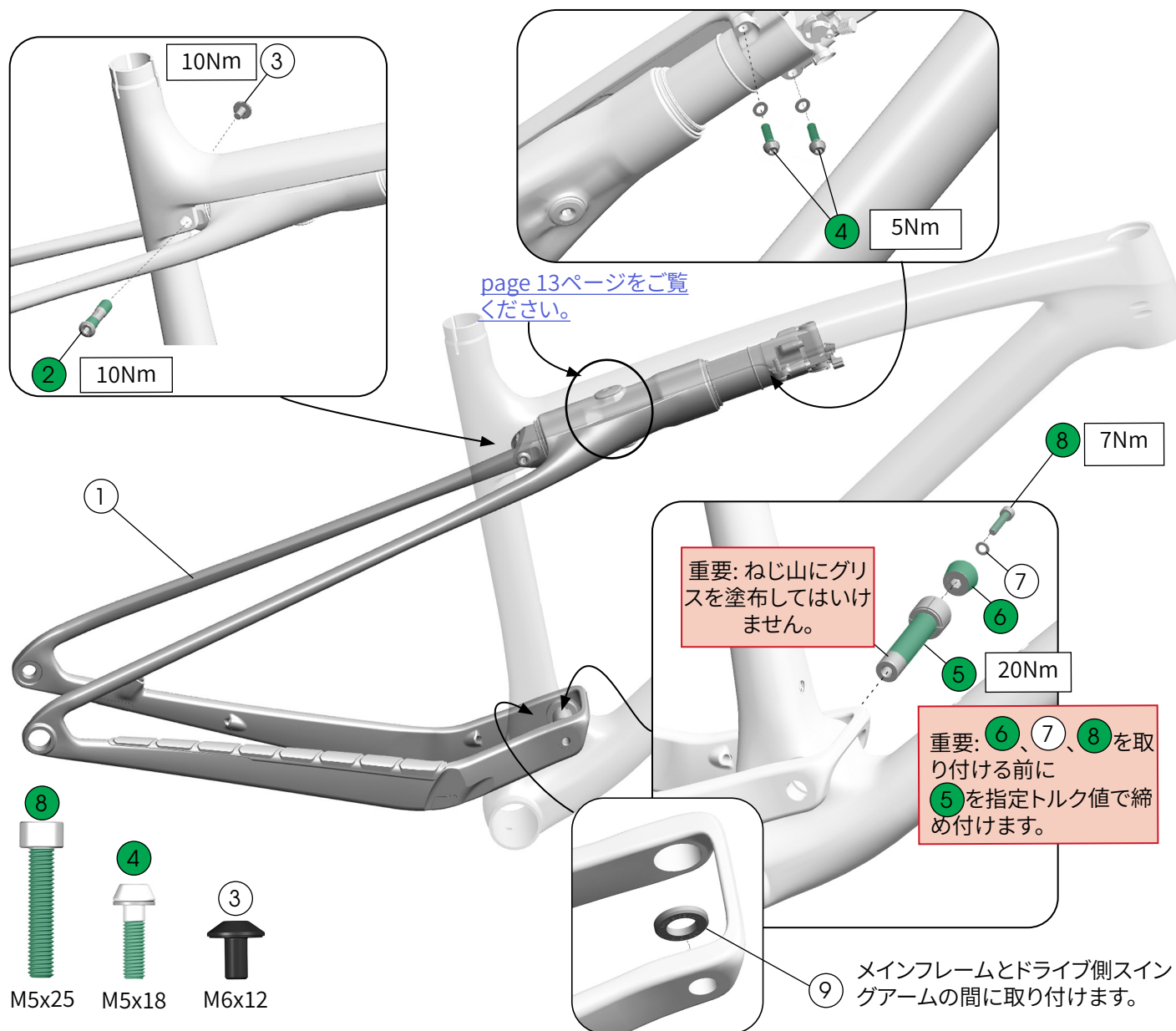
Transmissionディレイラーについて詳しくは、SRAMのユーザーマニュアル (sram.com) を参照してください。

メインピボット



- ① ベアリング、28x15x7 — [W5290782](#)
- ② メインピボットスリーブ — [W5290783](#)

スイングアーム



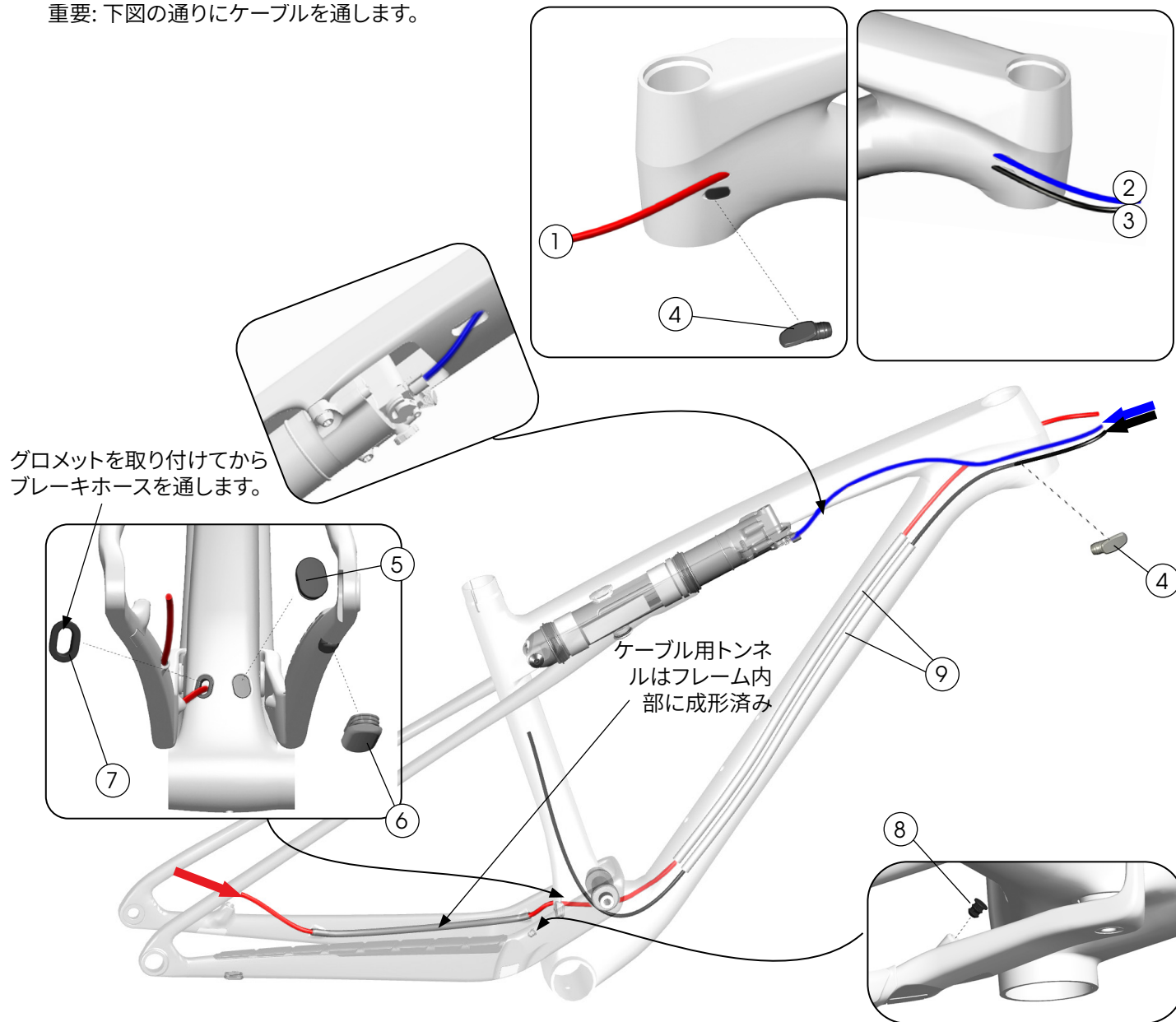
- ① スイングアーム SM — [45582](#)
M-XL — [45583](#)
- ② IsoStrutアクスルボルト、M6x10mm — [W5290780](#)
- ③ エンドキャップボルト、M6x12mm — [W582252](#)
- ④ ワッシャー付きボルト、M5x18mm — [W584485](#)
- ⑤ メインピボットボルト、M15x71mm — [W5306810](#)
- ⑥ ウェッジスペーサー — [W5306811](#)
- ⑦ ワッシャー、5.3mm x 1mm — [W5309244](#)
- ⑧ ボルト、M5x25mm — [W5306809](#)
- ⑨ スペーサー、15x26x4 — [W5307573](#)

— IsoStrut固定用ハードウェア

SLRのAXS変速ルーティング

注: ブレーキホースとIsoStrutロックアウトケーブルを通すには、フォークを外す必要があります。

重要: 下図の通りにケーブルを通します。

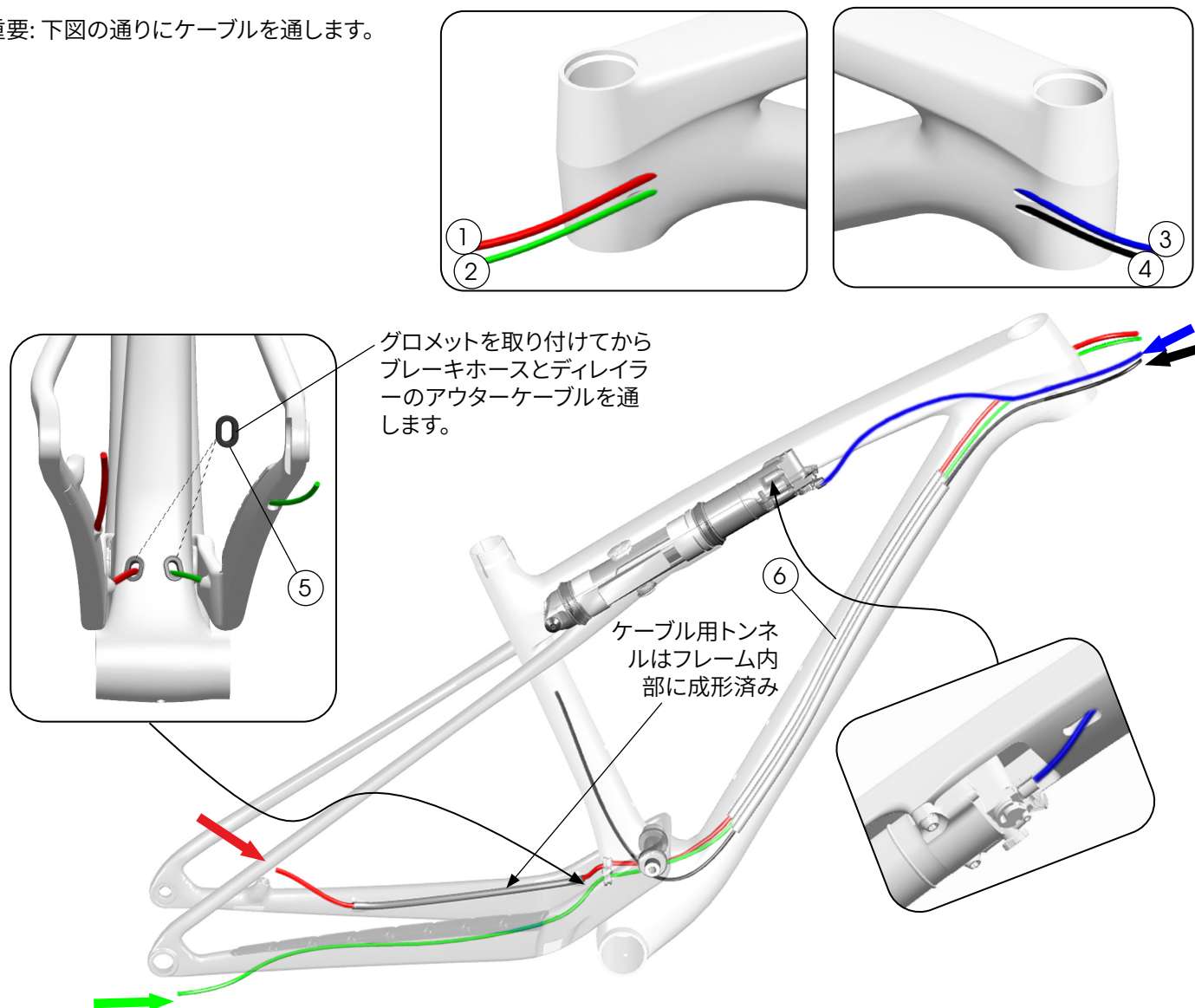


- ① リアブレーキホース
- ② IsoStrutロックアウトケーブル
- ③ ドロップパーポストケーブル
- ④ アウターケーブルプラグ – [W600649](#)
- ⑤ ケーブル穴用プラグ – [W5256254](#)
- ⑥ チェーンステイプラグ – [W5259425](#)
- ⑦ ケーブル穴用グロメット – [W5255861](#)
- ⑧ チェーンステイプラグ – [W600209](#)
- ⑨ アウターケーブル用フォームスリーブ – [W528082](#)

SLRの機械式変速ルーティング

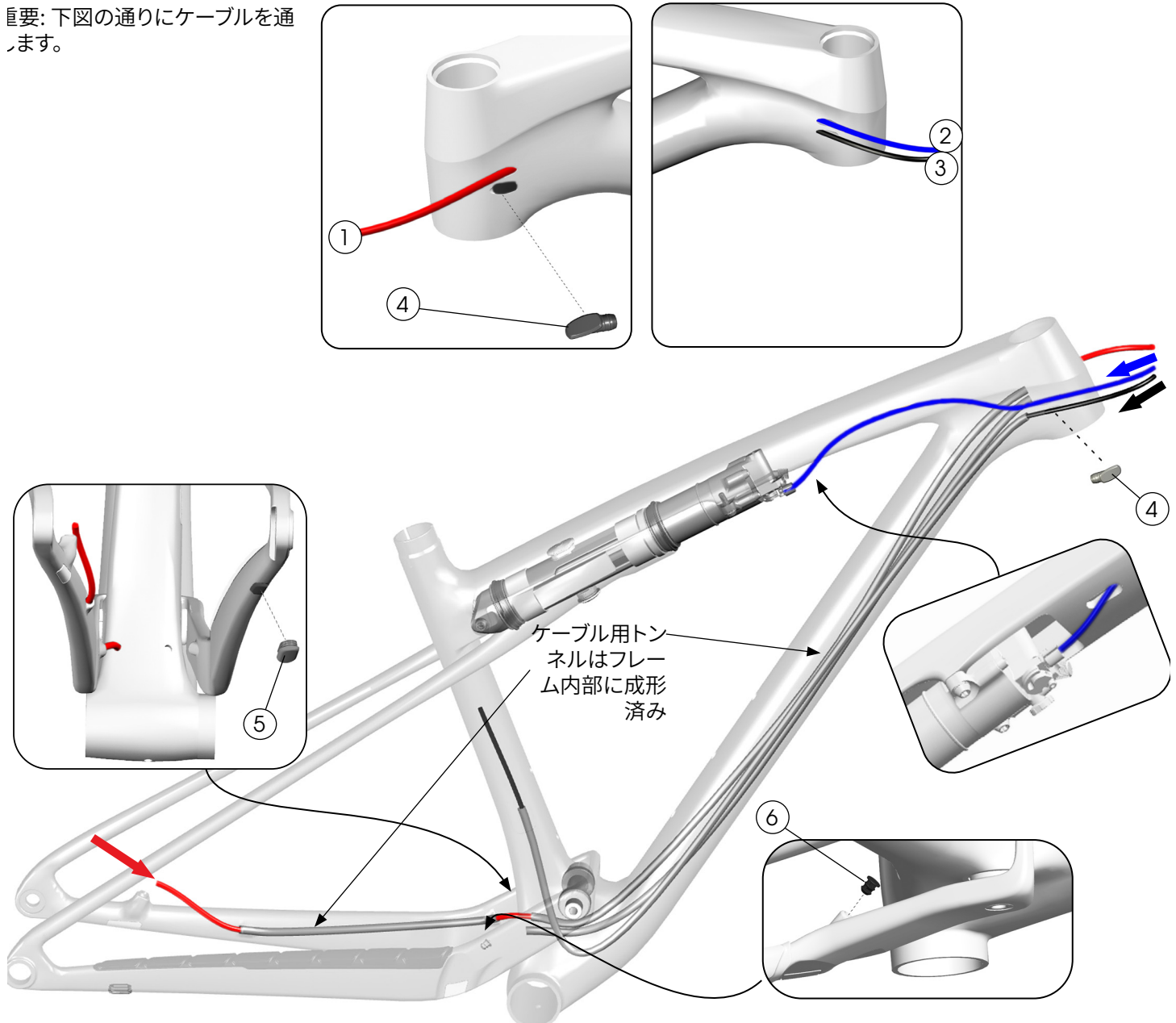
注: ブレーキホースとIsoStrutロックアウトケーブルをヘッドチューブに通すには、フォークを外す必要があります。

重要: 下図の通りにケーブルを通します。



SLのAXS变速ルーティング

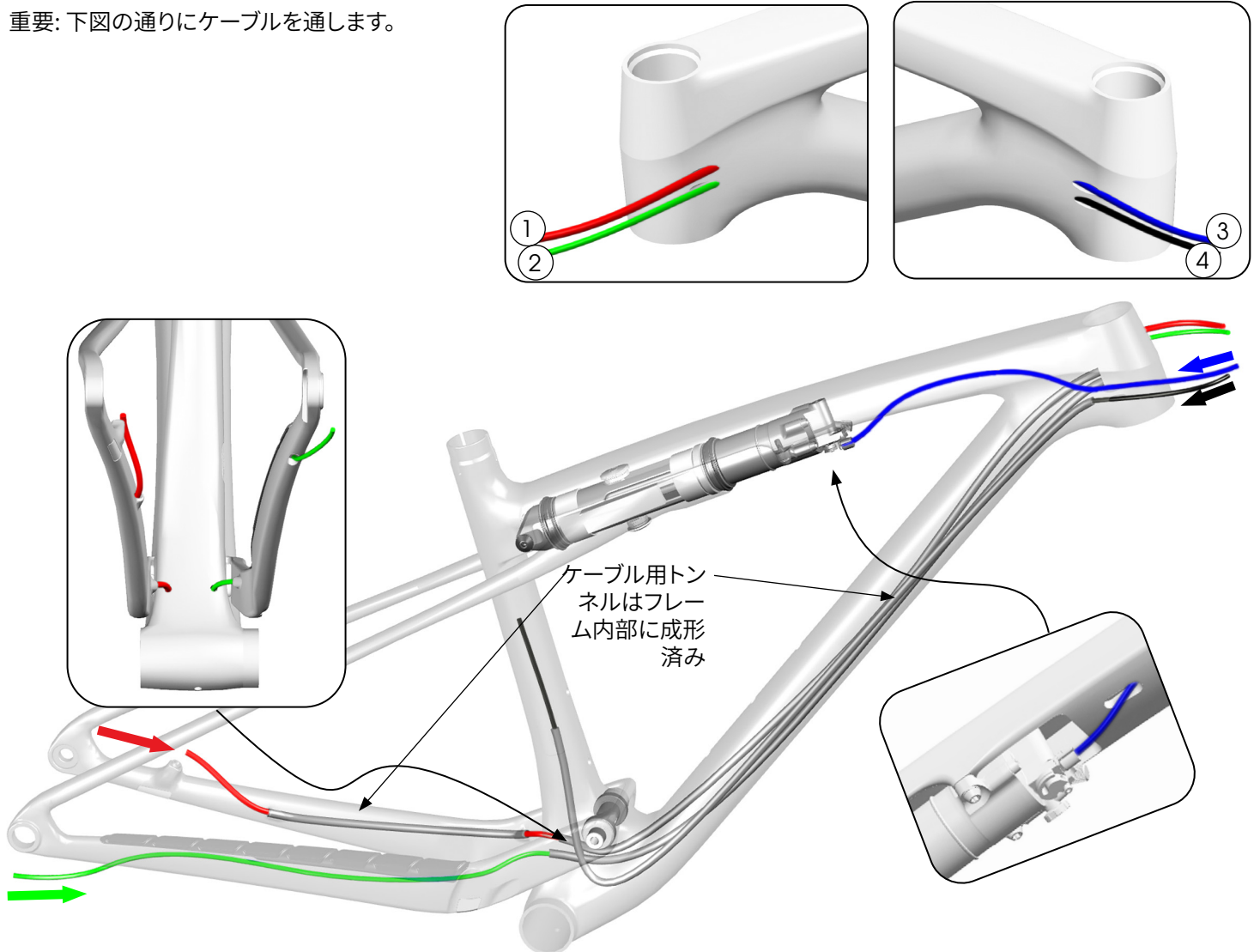
重要: 下図の通りにケーブルを通します。



- ① リアブレーキホース
- ② IsoStrutロックアウトケーブル
- ③ アウターケーブルプラグ – [W600649](#)
- ④ チェーンステイプラグ – [W5259425](#)
- ⑤ チェーンステイプラグ – [W600209](#)

SLの機械式変速ルーティング

重要: 下図の通りにケーブルを通します。



- ① リアブレーキホース
- ② リアディレイラーアウターケーブル
- ③ IsoStrutロックアウトケーブル
- ④ ドロップパーポストケーブル

フレームガード



- ① ローターガード、接着済み — [W5307943](#)
- ② チェーンステイガード、接着剤付き — [W5307370](#)
- ③ チェーンリングガード、接着済み — [W5307942](#)
- ④ ダウンチューブプロテクター、透明接着剤付き — [W5312789](#)

接着剤付きガード ② ④

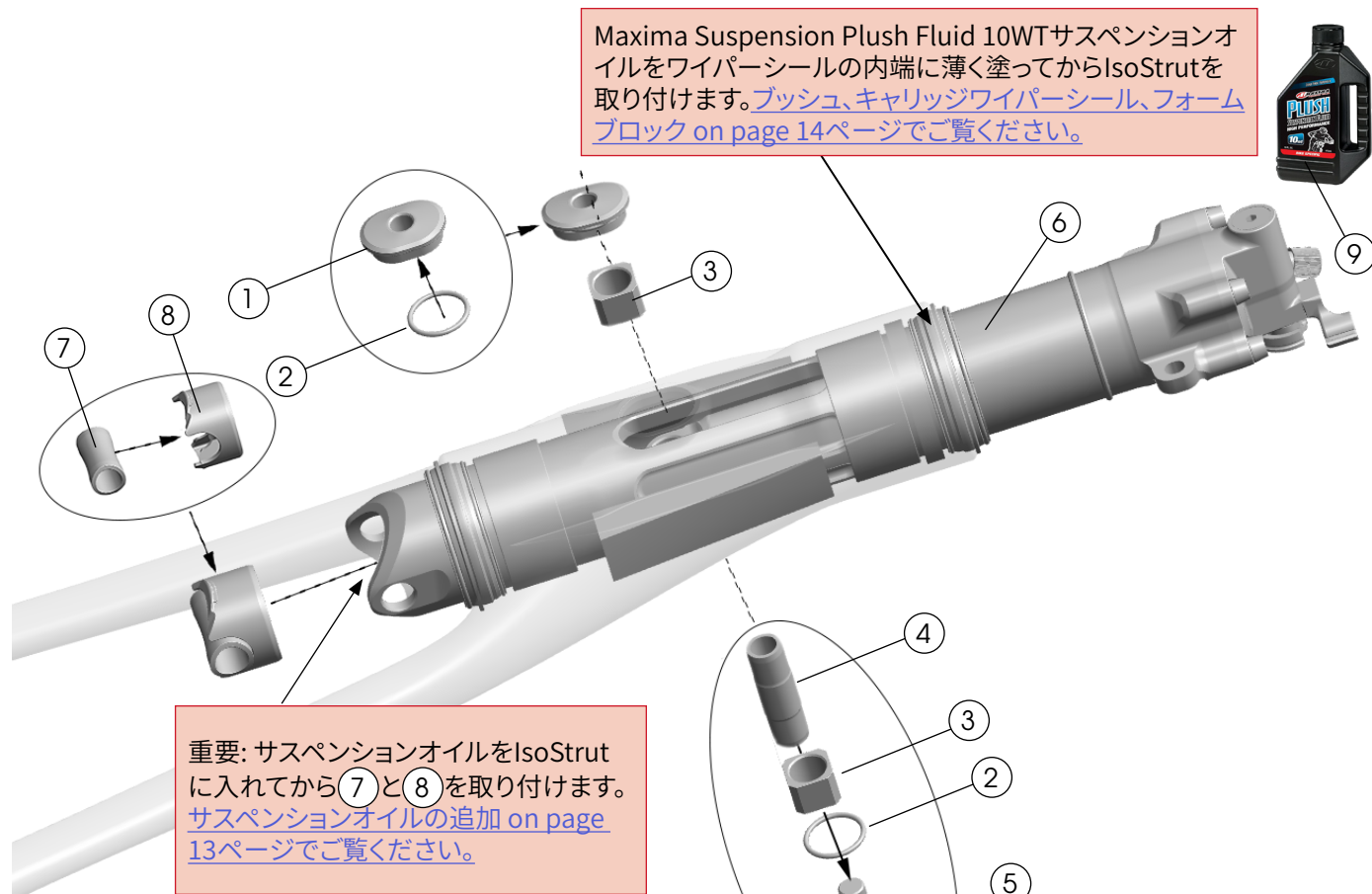
ガードを取り付けるフレームの表面を、イソプロピルアルコールできれいにします。ガードを取り付ける前に、アルコールが乾くのを待ちます。

注: フレーム全体をイソプロピルアルコールで掃除してはいけません。イソプロピルアルコールは塗装を傷つける恐れがあります。

接着済みガード ① ③

1. 接着力を上げるには、紙やすりを使ってガードの裏面を荒らし、元のガードを剥がした部位(今回、エポキシを塗る部位)に残っている接着剤を削り落とします。
2. 2液エポキシでガードを取り付けます。
3. エポキシが硬化するまで24時間待ちます。

IsoStrut



- ① ダンパーボディーナット — [W601176](#)
- ② Oリング — [W601177](#)
- ③ ガイドブッシュ — [591628](#)
- ④ ダンパーボディースリーブ — [W5290778](#)
- ⑤ ダンパーボディボルト — [W5306808](#)
- ⑥ RockShox SIDLuxe IsoStrut — [W5308335](#)
- ⑦ スペーサー — [W5291120](#)
- ⑧ オイルプラグ — [W5292128](#)
- ⑨ Maxima Suspension Plush Fluid 10WTサスペンションオイル — [600297](#)

IsoStrutのメンテナンス

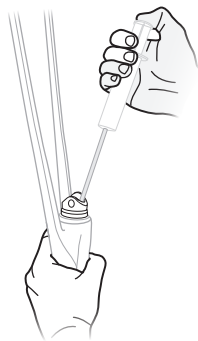
詳しいサービスについては、RockShox SIDLuxe IsoStrutサービスマニュアルをSRAM販売店ポータルでご覧ください。

IsoStrutの取外し

1. IsoStrut固定用ハードウェアを外します。[スイングアーム on page 6ページ](#)でご覧ください。
1. ダンパーコンポーネントを外します。[IsoStrut on page 12ページ](#)でご覧ください。
2. IsoStrutをキャリッジから抜き出します。

サスペンションオイルの追加

1. スペーサーとオイルプラグを外します。[IsoStrut on page 12ページ](#)でご覧ください。
2. シリンジ (注射器) に15cc分のMaxima Suspension Plush Fluid 10WTサスペンションオイル — [600297](#) を入れ、IsoStrutに注入します。



3. オイルプラグをスペーサーごとIsoStrutに押し込みます。
4. IsoStrut固定用ハードウェアを取り付けます。[スイングアーム on page 6ページ](#)でご覧ください。

エアボリウムスペーサー (ボトムレストークン)

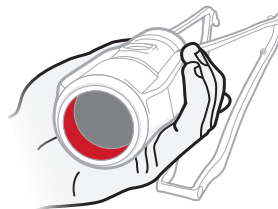


— [5316700](#)

お買い求めいただいたSupercaliberには、ボトムレストークンが2個付属しています。取付方法については、SRAM販売店ポータルでRockShox SIDLuxe IsoStrutサービスマニュアルをご覧ください。

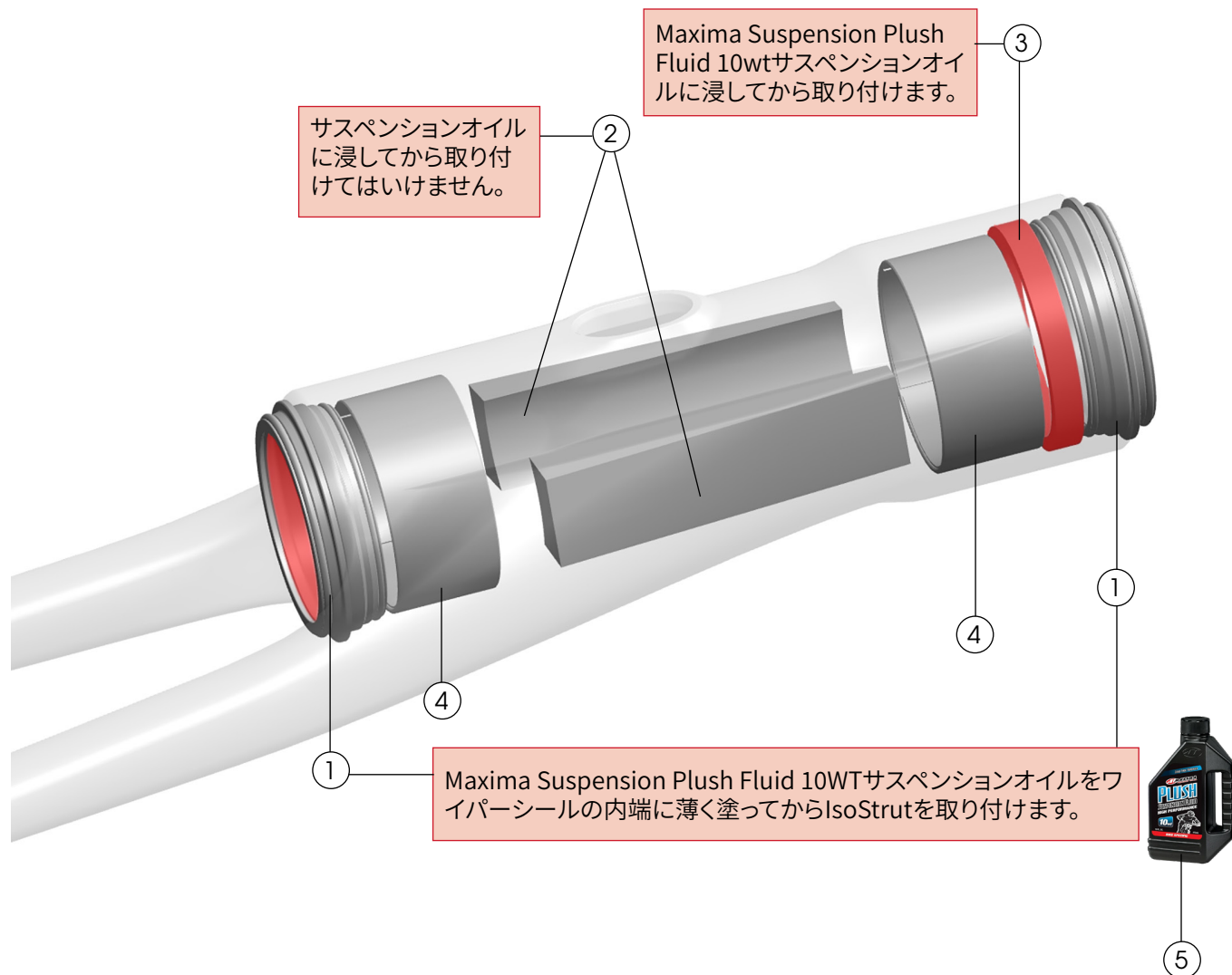
IsoStrutの取付け

1. Maxima Suspension Plush Fluid 10WTサスペンションオイル — [600297](#) をキャリッジシールの内側に薄く塗ります。



2. IsoStrut上にサグのOリングを通した状態で、IsoStrutをキャリッジに挿入します。
3. ダンパーコンポーネントを取り付けます。[IsoStrut on page 12ページ](#)でご覧ください。
4. IsoStrut固定用ハードウェアを取り付けます。[スイングアーム on page 6ページ](#)でご覧ください。

ブッシュ、キャリッジワイパーシール、フォームブロック



① キャリッジワイパーシール

② フォームブロック

③ フォームリング

④ ブッシュフォームリング — [5316699](#)

⑤ Maxima Suspension Plush Fluid 10WTサスペンションオイル — [600297](#)

[5316705](#)

ブッシュとキャリッジワイパーシールの交換

シールを交換するためのツール

- IsoStrutシール&ブッシュ用圧入ツールセット — [5317338](#)
- ポリアセタール製の棒、1インチ (25.4mm)
- ヘッドセット圧入ツール
- Maxima Suspension Plush Fluid 10wtサスペンションオイル — [600297](#)

ブッシュを交換するためのツール

- スライドハンマー
- 38 拡張コレット
- IsoStrutシール&ブッシュ圧入ツールセット — [5317338](#)
- ブッシュサイズ測定ツール — [5318880](#)
- ブッシュサイズ測定ツール用ハンドル — [5318944](#)
- きれいな乾いた布

注: 使用前にすべてのツールを点検して、これらがきれいであることを確認してください。ツールが汚れていると、塵が付く可能性があり、表面の損傷や摩擦が生じて、ショックが破損する恐れがあります。

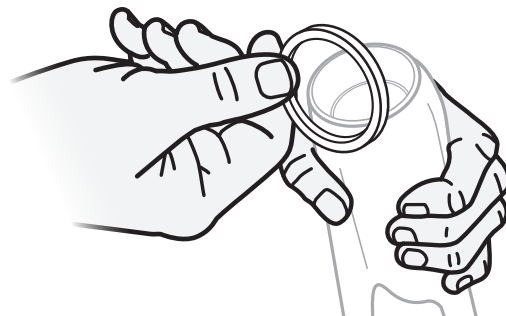
キャリッジワイパーシールの取外し

1. ポリアセタール製の棒でフロントシールを引き抜きます。

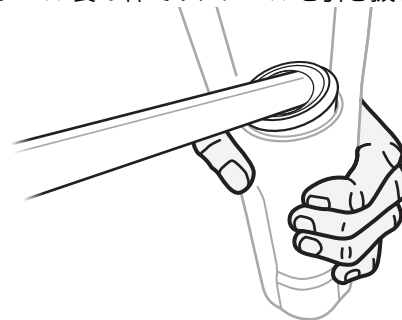
ヒント: 棒をキャリッジ内で動かすと、シールを取り外しやすくなる場合があります。



2. フォームリングを取り出します。



3. ポリアセタール製の棒でリアシールを引き抜きます。



シールのみを交換する場合は、[ワイパーシールの交換 on page 18](#)

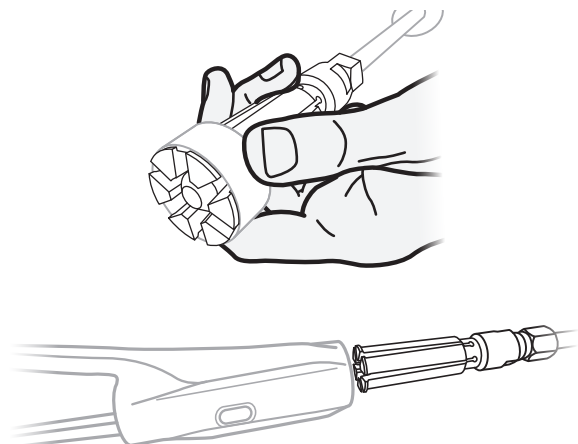
シールとブッシュの両方を交換する場合は、[ブッシュの交換 on page 16](#)ページをご覧ください。

ブッシュの交換

注: ブッシュにグリスを塗ってはいけません。

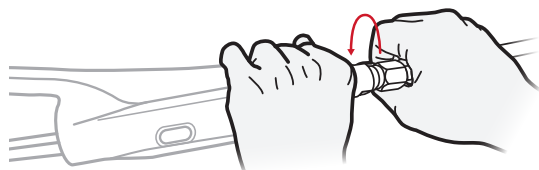
1. スライドハンマーをコレットと共にキャリッジ前端内側に取り付けます。

注: キャリッジの内側ではなく、ブッシュのみを噛み合わせるように気をつけてください。キャリッジを噛み合わせると、キャリッジが損傷する恐れがあります。

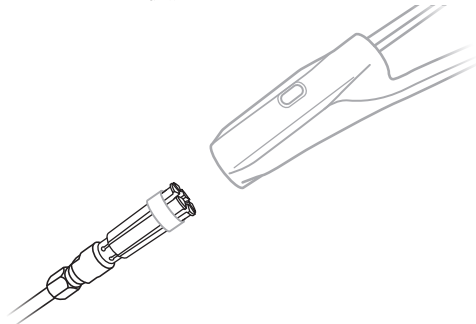


2. コレットをねじ込み、ブッシュのリップと噛み合わせます。

ヒント: キャリッジ内側にあるリップと噛み合わせないように注意してください。ブッシュだけと噛み合わせます。

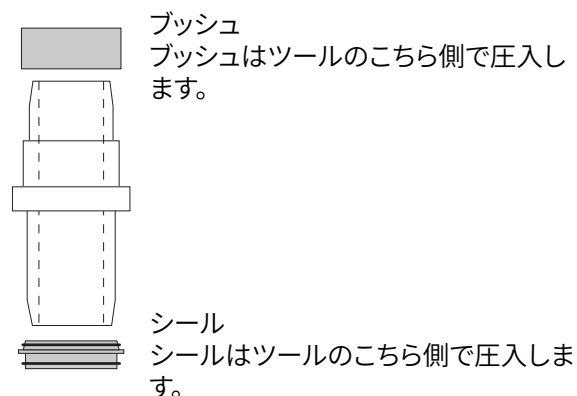


3. スライドハンマーを使用して、ブッシュを取り外します。



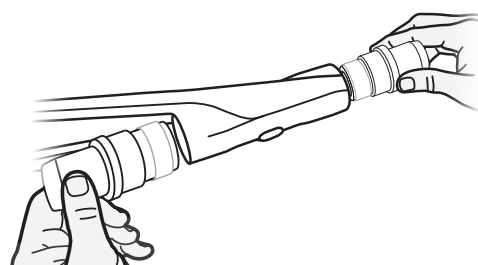
4. ステップ1～3を繰り返して、リアブッシュを取り外します。
5. きれいな乾いた布でブッシュが収まる穴から汚れを拭き取ります。

6. 新しいブッシュをブッシュ取付ツールに取り付けます。

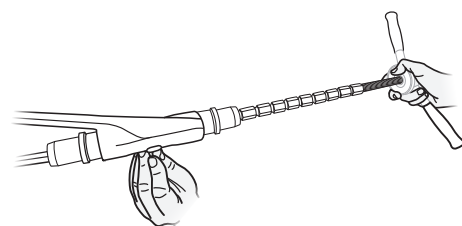


注: ブッシュの取付けには、グリスを使用してはいけません。グリスを使用すると、ブッシュが滑り落ちる可能性があります。

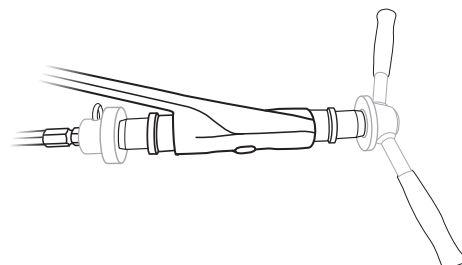
7. ツールでブッシュをキャリッジの前側に押し付け、もう一方のツールでもう1つのブッシュをキャリッジの後側に押し付けます。



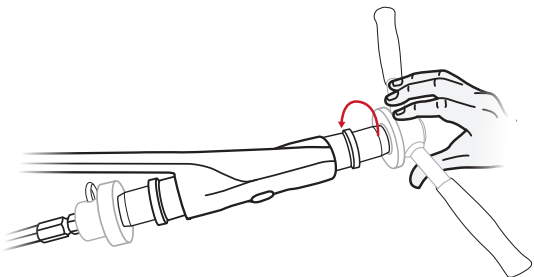
8. ヘッドセット圧入ツールの上半分をキャリッジの前側に挿入します。



9. ヘッドセット圧入ツールの下半分をキャリッジの後側に挿入し、固定します。



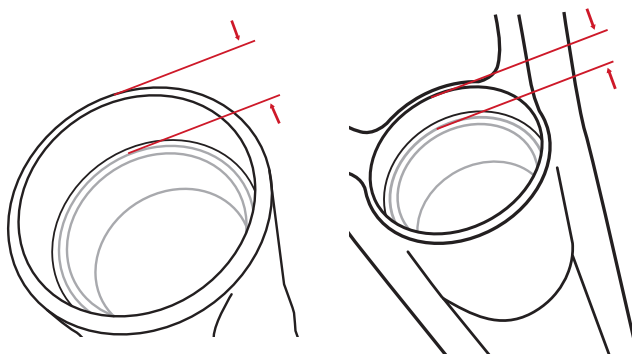
10. プッシュ取付ツールにぴったりと収まるまで、ヘッドセット圧入ツールを回転させます。ヘッドセット圧入ツール、プッシュ取付ツール、プッシュが正しく並んでいることを確認します。ヘッドセット圧入ツールを回し、プッシュを圧入します。キャリッジの前後で隙間が異なるのは正常です。



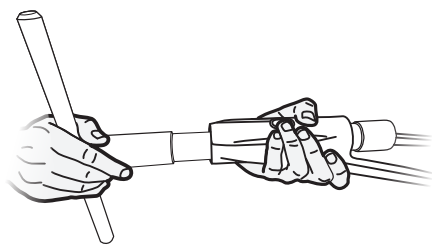
11. 圧入ツールを抵抗が感じられるまで締め付けます。抵抗を感じたら、圧入ツールと取付ツールを取り出します。
12. プッシュがキャリッジの奥までしっかりと圧入されているのを確かめてください。プッシュ最上部からプッシュ上側の段差までの長さは次の通りです:

前側 = 16.5mm

後側 = 10mm



13. Maxima Suspension Plush Fluid 10wtサスペンションオイル – [600297](#)を薄く塗ります。
14. プッシュサイズ測定ツールを使い、キャリッジ前側のプッシュの内径が38.01～38.07mmに収まっているのを確かめます。プッシュサイズ測定ツールは、左右に回せます。

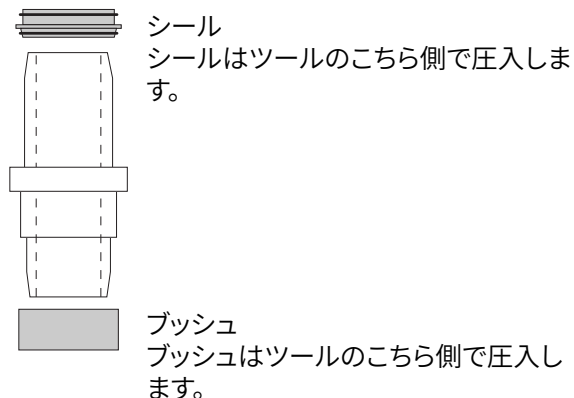


15. 前側と後側のプッシュを交互に、ステップ14を1～4回繰り返します。

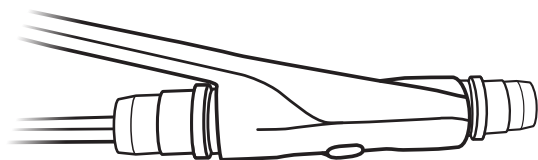
ワイパーシールの交換

注: ブッシュを擦らないよう気をつけてください。ブッシュに擦り傷がつくと、交換が必要になります。

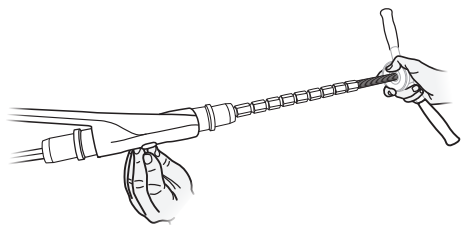
1. キャリッジ内側のシール表面から汚れを拭き取ります。
2. 新しいシールをシール取付ツールにセットします。



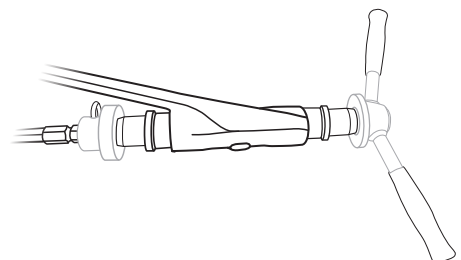
3. ツールでシールをキャリッジの前側に押し付け、もう一方のツールでもう1つのシールをキャリッジの後側に押し付けます。



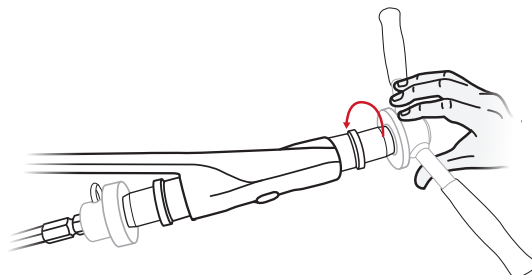
4. ヘッドセット圧入ツールの上半分をキャリッジの前側に挿入します。



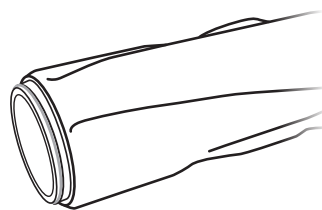
5. ヘッドセット圧入ツールの下半分をキャリッジの後側に挿入し、固定します。



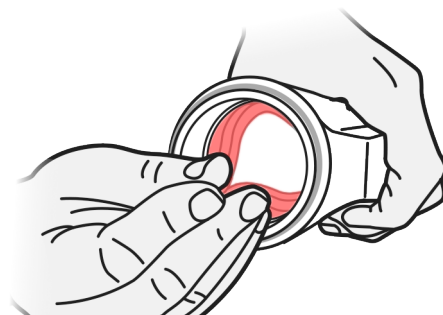
6. シール取付ツールにぴったりと収まるまで、ヘッドセット圧入ツールを回転させます。ヘッドセット圧入ツール、シール取付ツール、シールが正しく並んでいることを確認します。ヘッドセット圧入ツールを回し、シールを圧入します。



7. 圧入ツールを抵抗が感じられるまで締め付けます。ワイパーシールを圧入したまま約30秒間待ちます。ヘッドセット圧入ツールとシール取付ツールを外します。
8. シールを検査して、シートとキャリッジの間に隙間がないのを確かめます。

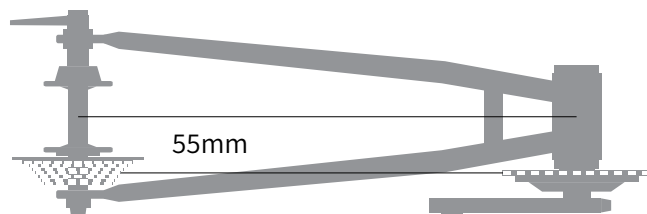


9. フォームリングをMaxima Suspension Plush Fluid 10wtサスペンションオイル – [600297](#)に浸します。
10. フォームリングをキャリッジ前側に取り付けます。



仕様

チェーンライン (1xのみ)



チェーンリング (1xのみ)

最小	最大
30T 円形	38T 円形

リアブレーキマウント

160mmのダイレクトポストマウント

ハブ幅

リアハブ: 148mm

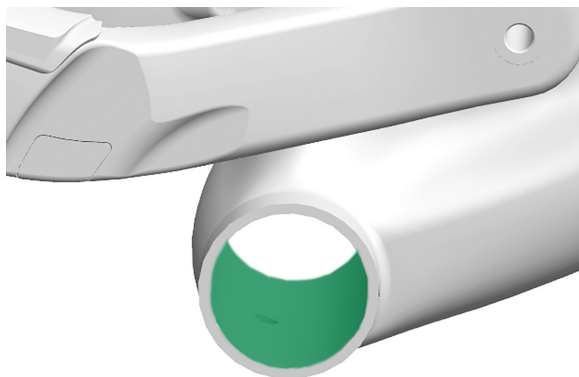
最大タイヤサイズ

29インチ x 2.4インチ

注: タイヤの実寸はそれぞれに異なります。タイヤとフレームとの間に十分なクリアランスがあることを必ず確認してください。誤ったタイヤサイズはフレームを損傷させる恐れがあります。タイヤの横と上のクリアランスの推奨値は6mmです。

ボトムブラケット

BB92 プレスフィット



シートポスト



警告

シートポストメーカーが推奨する最小挿入値に必ず従ってください。従わないとシートポストが破損し、乗り手が怪我をする恐れがあります。

最小挿入値: シートポストメーカー参照のこと

最大挿入値:

S: 215mm

M: 225mm

ML: 250mm

L: 270mm

XL: 330mm

シートチューブ内径: 31.6mm

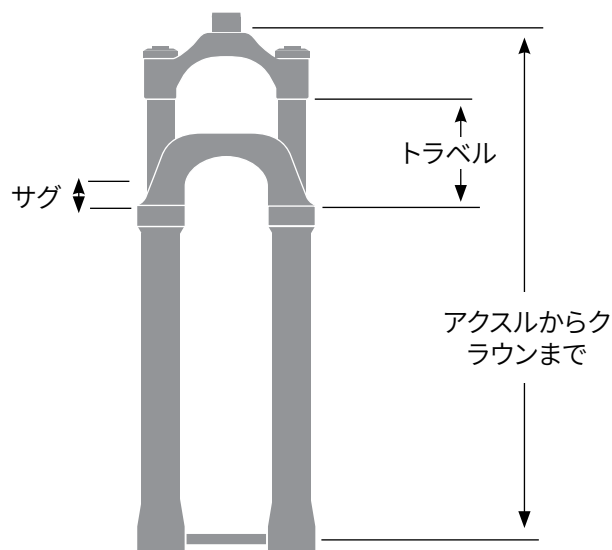
シートチューブ外径: 36.2mm

フォーク



警告

推奨される最大フォーク長を超えると、バイクが損傷したり乗り手が怪我をしたりする恐れがあります。



フレームサイズ	アクスルからクラウンまで (mm)		トラベル (mm)
S、M、ML、L、XL	推奨	515	110
	最小	505	100
	最大	533	120

推奨サグ: サスペンション計算機は

Trekbikes.com/suspension-calculatorでご覧いただけます。